



日本郵政(株)と勉強会を開催

～何かが違う！土砂災害の前兆現象を早期発見へ～



この勉強会は、地域の实情に精通している局員の方々に、特に土砂災害の前兆現象などをご理解いただき、今後の土砂災害の前兆を発見していただくことを目的に行っているものです。

国交省湯沢河川国道事務所では、平成2年より八幡平山系(秋田側)約510 km²のエリアについて、国直轄砂防事業として土砂災害対策を行っています。

局地的な豪雨などに備え、平成26年7月9日(水)、角館郵便局の大会議室において、土砂災害の前兆現象に関する勉強会を開催し、26名の郵便局の方々に参加していただきました。

これにより、地域の安全性が少しでも向上することができれば幸いです。

※土砂災害の前兆現象を早期に発見頂く手段の一つとして、去る平成25年8月1日(木)、仙北市田沢湖庁舎において、湯沢河川国道事務所長と日本郵便(株)角館郵便局長、田沢湖郵便局長、神代郵便局長、田沢郵便局長、田沢湖高原簡易郵便局長との間で、土砂災害防止に関する協力協定を締結しました。



さまざまな土砂災害の前兆現象等を説明



真剣なまなざしで聴講する 郵便局の方々



閉会の挨拶

2014年7月9日

前兆現象について

かけ崩れの前ぶれ



がけから小石がバラバラと落ちてきた時



がけに割れ目が見えた時



がけから水がわき出してきた時

勉強会での資料の一部